

2023年度  
学校だより  
第7号

# こころ

牛久第一中学校  
令和5年8月28日  
文責 校長 本橋和久

## 牛久シャトーを題材に「社会に開かれた学び」を展開～3年・総合

7月7日(金)の総合的な学習の時間に、3年生たちは牛久シャトーについての探究活動を行いました。当日は市文化芸術課長の木本さん、牛久シャトーの川口社長を迎えての学習会となりました。まず川口社長と木本課長がオンラインで各学級の生徒たちにシャトーの現状を説明。その後、二人が教室を訪れ、グループで課題解決している様子を参観しながら、生徒たちからの質問に答えていました。現代社会は「正解のない問い」で溢れています。今回もそのことを実感しました。



各教室のモニターで説明を視聴 教室で質問に答える川口社長 木本課長も多くの質問に回答

## これまでの学びの成果を地域に開く～7月11日(火)学校公開日

7月11日(火)は学校公開日でした。当日は3校時から6校時まで、保護者の皆様に自由に授業や給食の様子を参観していただきました。生徒たちは普段から多くの来客の参観を経験していて、たいていのことでは集中力を欠きませんが、この日ばかりは自分の親が来るとあって、入室するたびにちらちら確かめる人もいました。

それでもどの学年の生徒たちも概ね普段通りの学びを展開していました。技術などの実技教科ではモノがふんだんに活用され、英語や社会などの教科ではタブレットの機能も大いに活用していました。

3年生は午後には生徒・保護者対象の進路学習会を開催しました。講師は県立高校の校長先生、私立高校の進路担当の先生方でした。高校生になるということの意味を考え、進路に関する意識を高めるよい機会となりました。

当日はご来校ありがとうございました。



3年・進路学習会 いつも通りに学ぶ生徒達

## 7月の校内授業研修～7月10日(月)2年・社会 竹井貴大先生

2年・社会「九州地方」を全職員で参観しました。生徒たちは豊富な資料との格闘から学びを始めました。社会科は資料が命。各グループでは「火山灰からなる土の性質が関係しているのでは?」「表層が10cmを超えると斜面が滑りやすくなるって書いてあるよ」などと推察しながら災害の要因を探究していました。放課後の協議会では、その教科の本質を授業者自身がおもしろがることで生徒たちの学びも活性化すること、資料を読み解くには国語科や理科など他教科の知識・技能も必要なことなどが共有されました。2年生の学び方はかなり進化しています!



資料の見方が社会科の要 資料に基づいて議論が進む

## 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム2023」への協力

7月14日(金)には多くの来校者がありました。文部科学省や茨城県教育庁、全国学校運営協議会連合会やPTA関係、国会議員や牛久市長などの方々です。当日は1年2組・社会「仏教の広まり」を公開。参観者からは「これだけ多くの人が見ているのに全く影響されないところに驚きました」「生徒同士が自然体で関わり合いながら学んでいるところに感動しました」などの感想をいただき、牛久一中の生徒たちの学びや学校運営協議会の活動を全国の方々に理解していただく格好の機会となりました。同じ時間に1組の理科と3組の数学も公開し、中学1年生がここまで協働できるという事実を示すことができました。これからも進化していく1年生です。



仏教について探究する生徒たち 国語辞典も駆使して探究中 リフレクション後の意見交流

## 河童ばやし踊りパレードで「団結賞」受賞!～7月29日 第1学年

1年生が夏休み前から猛練習してきた河童ばやし踊り。当日は猛暑の中、心をひとつにして最高のパフォーマンスを見せました。その結果「団結賞」を受賞!PTA本部や第1学年保護者の皆様、生徒会本部の生徒たちのサポートを受けての快挙です。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



団結賞に決まって歓喜する1年生達 猛練習が結実!